



1 題材名 「自分にできること」をさぐれ！

2 題材について

本題材は、小学校学習指導要領の学級活動（2）ウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」に関わる内容である。

児童はこれまでに体育科（保健領域）の授業で、「けがの手当ての仕方」や「けが人が出たときの対処法」について学んでいる。けが人が出た時は、落ち着いて観察・判断し、必要に応じて救急機関に知らせること、意識のない大きなけがの場合は、動かさないことやAEDが必要であることを理解している。また、昨年度の学級活動では、AEDの設置場所や機能について学び、目の前で人が倒れたときに自分にできることを考えた。しかし、実際に目の前で倒れた人を見たときに、何を一番先にすべきかを考え行動できる児童は少ないと考えられる。そこで、倒れた人を救うために必要なことやその手順を知ること、救命処置の適切な手順を理解し、目の前で人が倒れた際に、自分にできることを考え、行動しようとする気持ちをもつことができるよう本題材を設定した。

3 本題材のねらい

倒れた人を救うために必要なことやその手順を考えることで、救命処置の適切な手順を理解し、目の前で人が倒れた際に、自分にできることを考え、行動しようとする気持ちをもてるようにする。

4 学級活動（2）の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
目の前で倒れた人を救うための、救命処置の方法を知り、適切な手順を理解している。	他者の意見を聞いて、救命処置の適切な手順やその理由を考え、判断し自分なりに表現している。	救命処置の適切な手順を知り、目の前で人が倒れたときに、自分にできることを考え、行動しようとしている。

5 指導計画

過程	期日	活動の場	活動内容
事前	昨年○月	学級活動	○ 「AEDのなぞをとけ！」をテーマにAEDが設置されている場所、その機能や役割について理解するとともに、目の前で人が倒れた際に自分ができるところを考えた。
本時	○月○日	学級活動	○ 倒れた人を救うために必要なことや適切な手順を理解し、目の前で人が倒れたときに、自分にできることを考え、行動しようとする気持ちをもてるようにする。
事後	授業後	家庭	○ ワークシートをもとに、家族が倒れた時を想定して話し合い、自分にできることを考え、行動しようとする気持ちを高める。

6 本時の指導

(1) 目標

- 救命処置の方法を知り、適切な手順が理解できるようにする。 (知識・技能)
- 救命処置の適切な手順やその理由を考え判断し、自分なりに表現できるようにする。 (思考・判断・表現)
- 救命処置の方法や適切な手順を知り、目の前で人が倒れた際に、自分にできることを考え、行動しようとする気持ちをもてるようにする。 (態度)

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (評) 評価
導入 8分	<p>1 「いのちをつなぐバトン わたしが最初の救急隊」(日本学校保健会)の0:00~1:41を視聴する。</p> <p>2 「ミスターQからの手紙」を見て、課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「自分にできること」をさぐれ!</p> </div>	<p>○ワークシートを配布する。</p> <p>○パワーポイントを使用し、視覚的に捉えられるようにする。</p> <p>○映像教材と「ミスターQからの手紙」を用いることで、課題に興味をもって取り組めるようにする。</p> <p>○「ミスターQ」からの手紙で、これまでに学んだ学習のつながりを意識させ、関心を高める。</p>
展開 27分	<p>3 導入で視聴した動画(0:00~1:41)から、「自分にできること」を発表させる。 <予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全確認 ○反応の確認 ○大人を呼ぶ ○119番通報(救急車を呼ぶ) ○AEDを頼む ○AEDを持ってくる ○呼吸の確認 ○胸骨圧迫 ○電気ショックをする <p>4 「いのちをつなぐバトン」(学校保健会動画教材)全体を視聴する。</p> <p>5 体育の授業中に先生が倒れた(先生は一人)という設定で、「自分にできること」について話し合い、発表させる。 <予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○反応の確認 ○先生を呼ぶ ○AEDを持ってくる ○呼吸の確認 ○胸骨圧迫 	<p>○自由に発言させることでどんなことでも話し合いができるような雰囲気を作るようにする。</p> <p>○出された意見は、視覚的に捉えられるよう板書する。</p> <p>○発言内容について補足説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>(評) 救命処置の方法を理解している。 【知識・技能】(観察)</p> </div> <p>○動画の中に、キーワードやポイントが表示されるので、伝えながら視聴させる。 ※動画を一旦停止しながら説明してもよい。 ※「反応の確認」「呼吸の確認」「胸骨圧迫」については、特に説明が必要である。</p> <p>○黒板に適切な手順を、パネルなどを用いて表示していく。</p> <p>○3~5人の班を作り、意見を出し合いながらワークシートに記入するよう助言する。</p> <p>○4の動画を視聴して、いろいろな人の力を借りて「みんなで」やっていたことを強調して伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>(評) 他者の意見を聞いて、救命処置の適切な手順やその理由について考えている。 【思考・判断・表現】(ワークシート)</p> </div>

ま と め 10 分	6 本時のまとめをする。 ・「安全確認」が最も大切なこと、また街中で見知らぬ人が倒れた場合には、大人を呼ぶことが大切と伝える。 ・本時を振り返り、配付されたワークシートに「自分にできること」を記入する。 ・ミスターQからのメッセージを伝える。	○街中では、車の往来などの危険があること、見知らぬ人が倒れた場合も防犯教育の観点から近づかないで「自分にできること」を実施するよう伝える。 ※ 「大声でまわりの大人に伝える」「ランドセルに付いている防犯ブザーを鳴らす」等 ○本時のまとめとして「ミスターQからのメッセージ」を伝え「自分にもできそうだ」という意欲を持たせる。
		(評) 救命処置の適切な手順を知り、自分にできることを考え、行動しようとする気持ちをもっている。 【態度】 (ワークシート)

(3) 資料等

- 「いのちをつなぐバトン～わたしが最初の救急隊～」(学校保健会動画教材)
- パワーポイント (ミスターQからの手紙、ミスターQからのまとめのメッセージ含む)
- 映像視聴用の端末
- 板書用救命処置の方法カード
- ミスターQからのヒントカード
- ワークシート

※動画教材「いのちをつなぐバトン～わたしが最初の救急隊～」の流れ

1:25 安全確認	2:48 AEDの要請	7:50 電気ショック実施
2:00 反応の確認	3:30 呼吸の確認、胸骨圧迫	8:30 回復体位へ
2:13 応援を呼ぶ	4:42 胸骨圧迫の交代	8:45 救急車到着
2:41 119番通報の要請	7:15 パッドの装着	※10:08 以降は振り返り

5年生での指導について、以下のような想いで内容を構成しました。指導の際には参考にさせていただきますと幸いです。

・心肺蘇生法を体験する前段階の学習として、何を優先すべきか、救命処置の手順をじっくり考えることで、処置の意味や大切さについて学びを深めることができると考え、構成しました。

また、この深い学びは、次段階の体験で得た学びの定着につながると期待しています。

また、実践後のご意見、ご感想等をぜひお聞かせいただきたく、QRコードもしくはURLよりアンケートのご協力をお願いいたします。

URL <https://forms.gle/2xUW6vdGJ54xAbB58>



2021 Team いばらき 発達段階に応じた救命教育プロジェクト

導入用↓

<ミスターQ からの手紙>

5年〇組の諸君、初めまして。私はミスターQ。

さっそくだが、今見た映像を思い出して欲しい。

なんと斉藤さんがたおれてしまった!君たちも、目の前で人がたおれる状況に出くわすかもしれない!

そこで、突然だが、斉藤さんがたおれたところに、自分たちが居合わせたと思って、斉藤さんを助ける方法を考えてもらいたい。難しいが、君たちの考えを合わせればきっといのちのバトンがつながるはずだ。健闘を祈る!

ミスターQより



まとめ用↓

<ミスターQ からの手紙>

5年〇組の諸君、君たちが力を合わせて考えてくれた結果、斉藤さんを救うことができた!さすが5年〇組だ。今回、目の前でたおれた人を助けるための方法が分かったと思うが、全てを自分たちだけでやることはとても難しいだろう。だから、君たちは、斉藤さんを助けたように色々な人の力を借り、自分ができることをしていのちのバトンをつなげばよいのだ。そして大切なのは、「助けなければ!」と勇気を出して、行動することである!目の前で人が倒れた時、今日のことを思い出して行動できる、そんな勇気ある人になってくれると期待しているぞ!!

ただし、1番大切なのは、自分の身を守る安全確認だということは忘れないように!

ミスターQより



ワークシート「自分にできること」をさぐれ!


5年 組 番 _____

○さいとうさんがたおれてしまった! 自分にできることはなんだろう?




A rectangular box for writing. On the right side, there is a cartoon monkey character wearing a blue uniform and a blue cap with a white 'A' on it. The monkey has a question mark above its head, indicating it is thinking.

○体育の授業中に、先生がたおれてしまった! 自分にできることはなんだろう?




A rectangular box for writing. On the right side, there is a cartoon monkey character wearing a blue uniform and a blue cap with a white 'A' on it. The monkey has a question mark above its head, indicating it is thinking.

【まとめ】今日の授業で学んだ、「自分にもできること」を書きましょう。



A rounded rectangular box for writing. On the right side, there is a cartoon monkey character wearing a blue uniform and a blue cap with a white 'A' on it. The monkey has a happy expression and is waving its right hand.

【宿題】もしも、家族がたおれてしまったとき! 自分にできることはなんだろう?



A rectangular box for writing. On the right side, there is a cartoon monkey character wearing a blue uniform and a blue cap with a white 'A' on it. The monkey has a question mark above its head, indicating it is thinking.